

平成21年度本部関係事業計画書  
(平成21年3月19日 通常総会提出)  
社団法人 化学工学会

平成21年度重点施策

化学工学における連携と貢献  
～さらなる発展に向けて～

1. 多様な連携
  - ・化学産業関係企業が多数参加する INCHEM TOKYO 2009 の成功
  - ・科学技術振興機構(JST)との連携強化による学の成果と産のニーズのマッチング推進
  - ・新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との多様な連携による持続可能社会実現に向けての提言
2. 学会外への周知
  - ・部会研究活動の充実および年会と秋季大会(於広島大学)の成功
  - ・充実した支部活動による学会活動アピール
  - ・リニューアルした学会ホームページの更なる充実
3. 人材育成
  - ・資格制度(上席技士・技士・修習士)に対する企業での認知度向上
  - ・学会の特徴を活かしたインターンシップの制度の定着
4. 国際交流
  - ・日中化工シンポジウムの開催
  - ・世界 特にアジアを中心とした各国の化学工学会との連携強化
5. 新公益法人制度への対応
  - ・社団法人の認定にむけて学会基盤整備

[1] 本部事業

1. 年会・秋季大会
  - (1) 第74年会 (平成21年3月18日～20日) 横浜国立大学
  - (2) 第41回秋季大会(平成21年9月16日～18日) 広島大学
2. 名誉会員・化学工学会賞
  - (1) 名誉会員候補者の推薦
  - (2) 化学工学会賞候補者の決定

## [2] センター、C T、委員会活動

1. 地域C T
  - ・魅力ある支部活動の検討
  - ・平成21年度地域C T賞の募集/審査
2. 部会C T
  - ・会員にとって魅力ある部会活動の推進
  - ・設立後8年間を経過した部会の継続審査の実施
  - ・部会H Pの継続的な更新と適切な運用の推進
  - ・経済産業省や新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)から公募や受託等を行うための情報支援
3. 産学官連携センター
  - (1) 運営会議の活動
    - ・秋季大会におけるセンターとしての企画の検討
    - ・年会における「先端化学産業技術プログラム」の開催と方法の改善
    - ・化学工学会によるインターンシップの推進と方法の改善
  - (2) 常置委員会の活動支援
    - 開発型企業の会、SCE・Net、グローバルテクノロジー委員会
    - 経営システム研究委員会、インターンシップ委員会
4. 情報サービスセンター
  - ・学会誌、内容の充実を検討
  - ・英文誌、インターナショナルエディターの登用
  - ・和文誌、電子査読/電子投稿の検討
  - ・現行ホームページの検討/更新
5. 人材育成センター
  - (1) 理科教育委員会
    - ・学生発表会開催 平成21年3月7日
    - 東地区：日本大学(郡山)、西地区：岡山大学
    - ・第10回関東地区中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会
  - (2) 高等教育委員会
    - ・F D、デザイン教育、技術者倫理の今後の活動
  - (3) 教育審査委員会
    - ・平成21年度化学分野審査：本格審査、中間審査、継続審査を実施、大学院修士課程審査を実施
  - (4) 継続教育委員会
    - ・リニューアル継続教育プログラムの実施
    - ・中核人材育成事業講座の継続教育プログラムへの取り入れ
  - (5) 経営ゼミナール委員会
    - ・例年通り、関西、東京、東海、つくばセッションを各1泊2日で実施
    - ・過去の受講者対象の特別講演会を実施
  - (6) 資格制度運営委員会
    - ・平成20年度に引き続き、上席化学工学技士試験、化学工学技士試験、化学工学修習士・審査・登録を実施

6. 戦略企画センター
  - (1) 運営会議の活動
    - ・創立75周年記念事業内容の決定と本委員会の設立と運営
  - (2) シンクタンク委員会
    - ・Vision 2011の総括とPost Vision 検討チームの設立
    - ・日本化学連合への適切な対応の検討
  
7. 国際交流委員会
  - (1) 中国委員会
    - ・日中化工シンポジウム 時期：平成21年6月9～12日 場所：西安
  - (2) 韓国委員会
    - ・第22回化学工学に関する日韓シンポジウム
    - 時期：平成21年12月（予定） 場所：韓国（予定）
  - (3) 欧米委員会
    - ・AICHE 2009 Annual Meeting November 8-13
    - Gaylord Opryland Hotel Nashville, TN
  - (4) 海外への情報発信
    - ・英語版ホームページの充実
  - (5) 海外化学工学会との連携強化
    - ・韓国、インドの化学工学会との協定
  
8. リエゾン委員会
  - ・各種調査等への協力
  
9. 表彰委員会
  - ・平成21年度化学工学会賞候補者の審査
  
10. 男女共同参画委員会
  - ・第74年会で講演会「これからの男女共同参画」を企画。
  - ・第41回秋季大会で「ランチョン報告会」を企画。
  - ・第7回女子学生のためのイブニングセミナーを企画。
  - ・各社の男女共同参画の特徴ある取組を紹介する「わが社の取組」シリーズを企画し、HP&化工誌へ掲載。
  
11. 会員増強委員会
  - ・委員会、支部・懇話会、部会との連携による会員増強の推進。
  
- [3] 特別事業
  1. 夢・化学-21キャンペーン事業
 

化学工学会を含む4団体主催、文部科学省・経済産業省後援

    - ・「全国高校化学グランプリ2009」「国際化学オリンピック」
    - ・「夏休み子供化学実験ショー」
    - ・「週末実験教室」
  
  2. INCHEM TOKYO 2009の開催
 

平成21年11月18日（水）～11月20日（金）東京ビッグサイト  
（社）日本能率協会との共同主催

- ・プラントショー、先端材料展、ECO-MA2009 の展示参加の推進
- ・技術シンポジウム、産学官マッチングフォーラムの企画と開催

#### [4] 刊行物

##### 1. 会誌

- (1) 「化学工学」誌 第73巻 No. 1～12号 (12冊)
  - ・ページ数： 80ページ/号平均
- (2) 「化学工学論文集」第35巻 No. 1～6
  - ・ページ数： 110ページ/号平均
  - 電子版： 奇数月発行 6回/年
  - 冊子版： 1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行
- (3) 英文誌 “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN”  
第42巻 No. 1～12
  - ・ページ数： 115ページ/号平均
  - 電子版： 毎月発行 12回/年
  - 冊子版： 1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

##### 2. 不定期刊行物

- ・最近の化学工学 [60] (関東支部編)
- ・化学工学の進歩 [43] (東海支部編)
- ・装置材料腐食損傷事例データベース (SCE-NET 装置材料研究会)

#### [5] 支部事業

別表「平成21年度各支部事業計画」参照